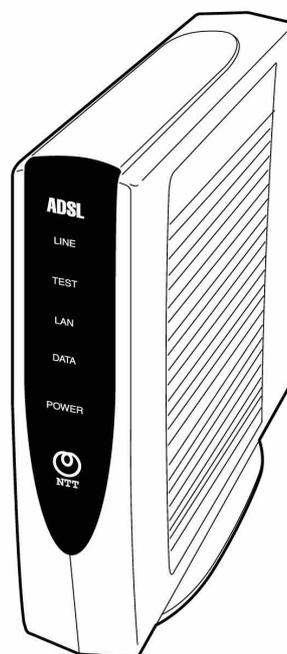


# **ADSLモデム-MN**

## **新機能説明書**

- 本書では、ファームウェアバージョンアップによって追加された新機能の使用方法、及び新機能を使用するためのパソコンの設定方法を説明しています。
- ファームウェアバージョンアップを行う場合は、『ファームウェアバージョンアップ説明書』をよくお読みのうえ、内容を理解してからバージョンアップを行ってください。



## 目次

1. パソコンのネットワーク設定(TCP/IP 設定) .....	3
Windows® XP の場合 .....	3
Windows® Me/98/95 の場合 .....	5
Windows® 2000 の場合 .....	6
Macintosh® OS X の場合 .....	8
Macintosh® OSJ1-9.X の場合 .....	9
2. Web ブラウザからのログイン .....	10
3. ADSL 接続状態表示機能 .....	11
4. バージョン情報表示機能 .....	12
5. リポート機能 .....	13

---

本書では、ADSL モデム-MN の新ファームウェア(R 8.08.50)によって提供される新機能の使用法、及び新機能を使用するためのパソコンの設定方法について説明します。

なお、本書に記載されているパソコンの設定画面、Web ブラウザの画面は一例であり、パソコン、OS、Web ブラウザの種類や設定で、若干異なる場合がありますので、あらかじめご承知おきください。

- Windows® は、米国 Microsoft® Corporation の米国およびその他の国における登録商標です。
- Windows® Me は、Microsoft® Windows® Millennium Edition operating system の略です。
- Windows® 98 は、Microsoft® Windows® 98 operating system の略です。
- Windows® 95 は、Microsoft® Windows® 95 operating system の略です。
- Windows® XP は、Microsoft® Windows® XP Home Edition operating system および Microsoft® Windows® XP Professional operating system の略です。
- Windows® 2000 は、Microsoft® Windows® 2000 Professional operating system の略です。
- Macintosh® は、米国 Apple Computer, Inc. の米国およびその他の国における登録商標です。
- Netscape、Netscape Navigator および Netscape Communicator は、米国 Netscape Communications Corporation の米国およびその他の国における登録商標または商標です。
- Acrobat® Reader は、Adobe Systems Incorporated (アドビシステムズ社)の米国およびその他の国における登録商標または商標です。
- その他の各会社名および各製品名は、各社の商標または登録商標です。

## 1. パソコンのネットワーク設定 (TCP/IP 設定)

ADSL モデム-MN に接続したパソコンから、ADSL の接続状態・伝送速度を確認することが可能です。パソコンからの確認は Web ブラウザを使用して行いますが、フレッツ・ADSL に接続するための設定とは別に、パソコンに TCP/IP の設定が必要となります。

フレッツ・ADSL によるインターネット常時接続のためのパソコン設定については、『フレッツ・ADSL 接続ガイド』等をご覧ください。

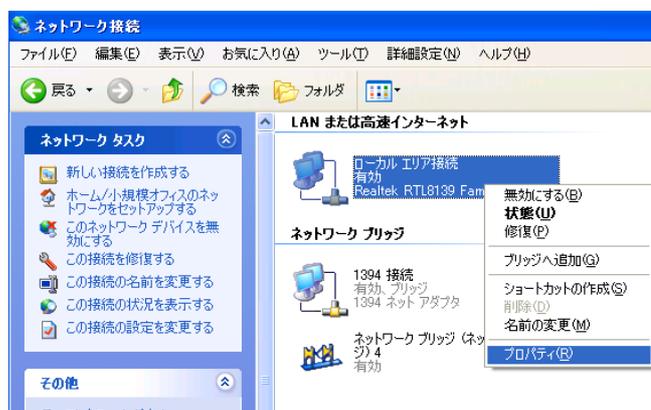
※『フレッツ・ADSL 接続ガイド』は、本装置には同梱されていません。

以下、本装置にアクセスするためのパソコン設定について説明します。

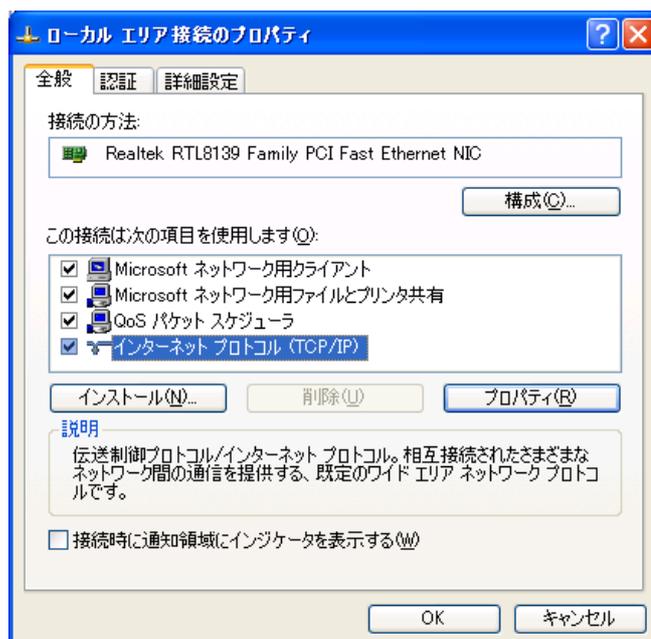
### Windows® XP の場合

※下記は、画面のプロパティ設定が初期状態(テーマ=Windows XP)の場合の例です。

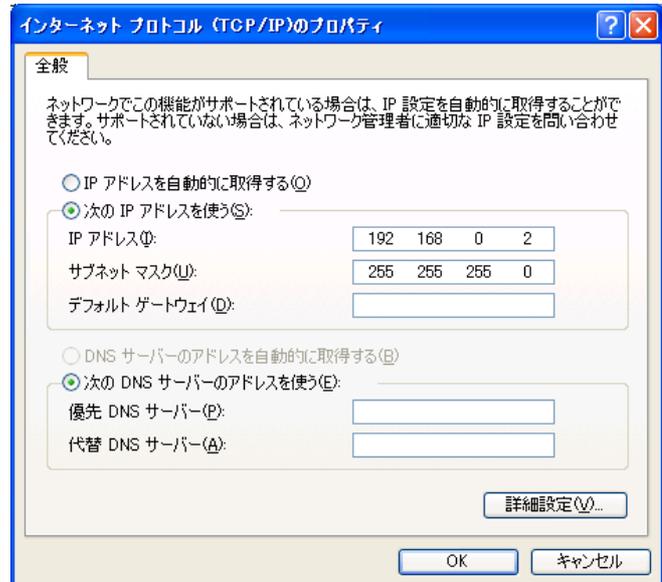
- (1) 「スタート」→[コントロールパネル]→[ネットワークとインターネット接続]→[ネットワーク接続]を選択します。
- (2) ローカルエリア接続を右クリックして[プロパティ]を選択します。



- (3) インターネットプロトコル(TCP/IP)を選択し[プロパティ]ボタンをクリックします。



- (4) 「次の IP アドレスを使う」にチェックを入れ、  
IP アドレス :192.168.0.2  
サブネットマスク :255.255.255.0  
を入力し[OK]ボタンをクリックします。

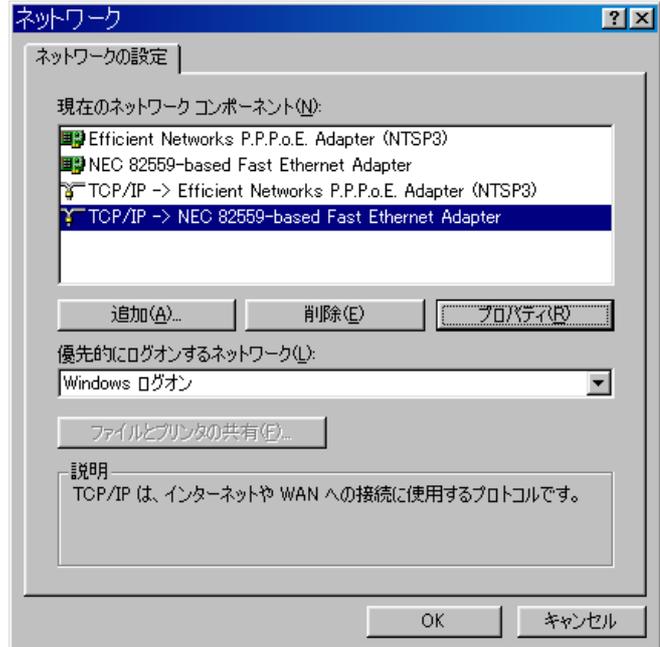


- (5) ローカルエリアの接続プロパティの[閉じる]ボタンをクリックします。

## Windows® Me/98/95 の場合

- (1) 「スタート」→「設定」→[コントロールパネル]→[ネットワーク]を選択します。[現在のネットワークコンポーネント(N)]の中から[TCP/IP→(ネットワークアダプタ名)]を選択後、[プロパティ]ボタンをクリックします。

※ 通常フレッツ接続ツールをインストールしていると、ネットワークコンポーネントの中に、[TCP/IP→(PPPoE のドライバ名)]がありますが、これを選択しないように注意してください。

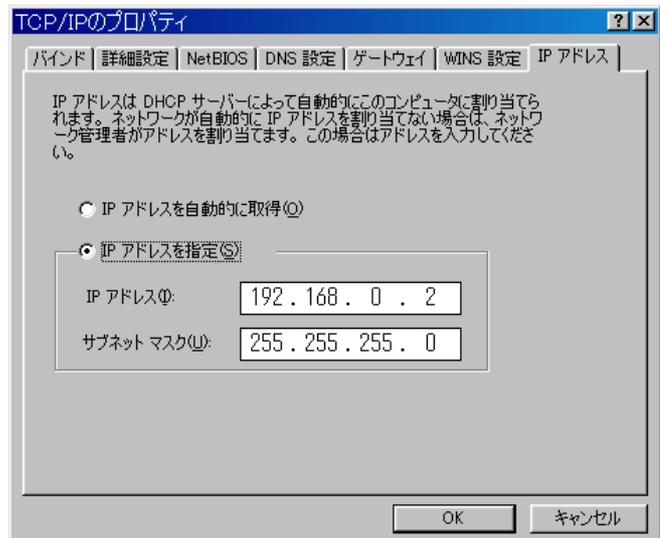


- (2) [IP アドレス]タブをクリックし、「IP アドレスを指定」にチェックを入れ、

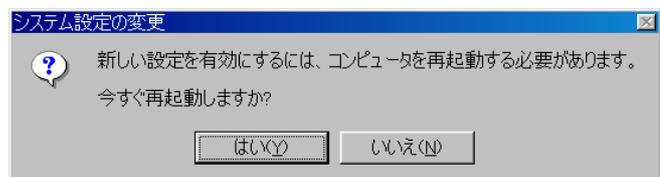
IP アドレス :192.168.0.2

サブネットマスク :255.255.255.0

を入力し[OK]ボタンをクリックします。[OK]ボタンをクリックします。

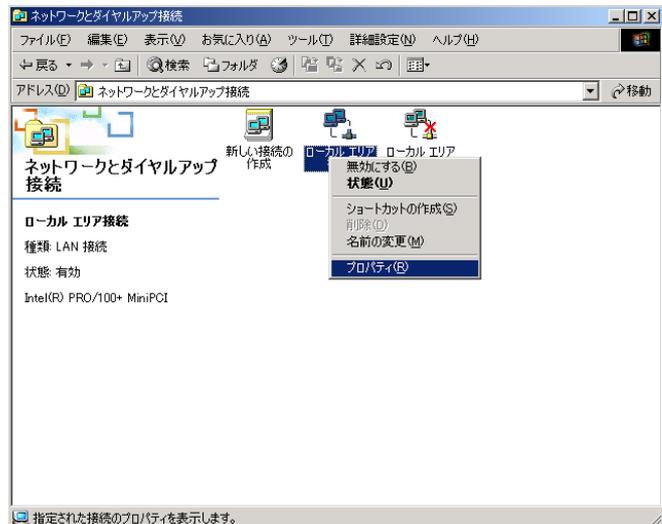


- (3) 表示に従いパソコンを再起動します。

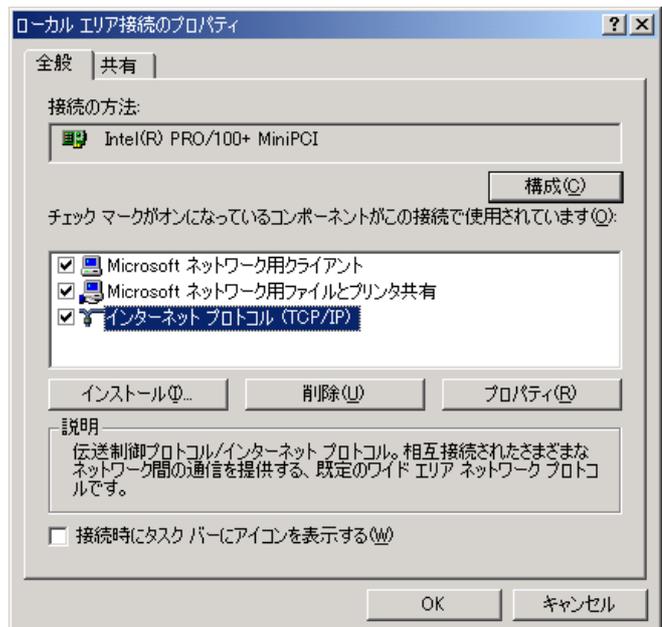


## Windows® 2000 の場合

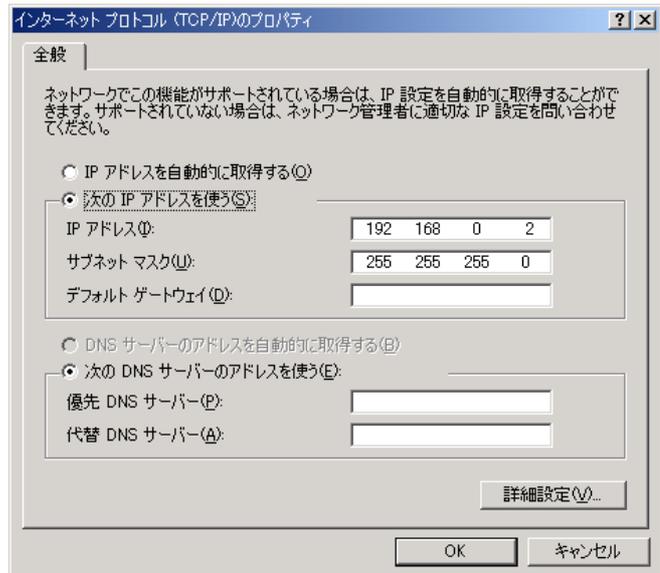
- (1) 「スタート」→「設定」→[コントロールパネル]→  
[ネットワークとダイヤルアップアダプタ]を選択  
します。
- (2) ローカルエリア接続を右クリックして[プロパティ]  
を選択します。



- (3) インターネットプロトコル(TCP/IP)を選択し[プ  
ロパティ]ボタンをクリックします。



- (4) 「次の IP アドレスを使う」にチェックを入れ、  
IP アドレス :192.168.0.2  
サブネットマスク :255.255.255.0  
を入力し[OK]ボタンをクリックします。



- (5) ローカルエリアの接続プロパティの[OK]ボタンをクリックします。

## Macintosh® OS X の場合

- (1) 「アップル」→[システム環境設定]を選択し  
[ネットワーク]アイコンをクリックします。



- (2) [TCP/IP アドレス]タブをクリックし、  
表示 : 内蔵 Ethernet  
設定 : DHCP ルータを使って手入力  
IP アドレス: 192.168.0.2  
を入力し、[今すぐ適用]ボタンをクリックしま  
す。



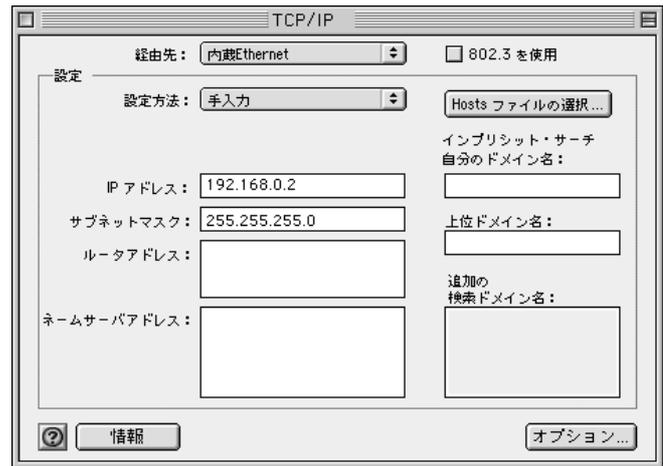
- (3) 閉じます。

## Macintosh® OSJ1-9.X の場合

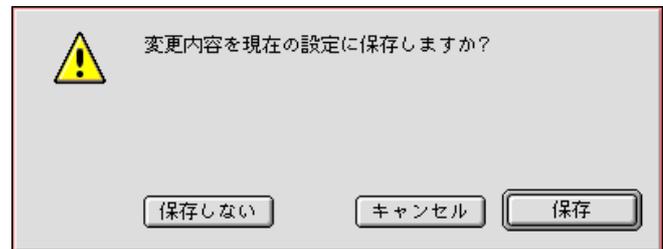
- (1) 「アップル」→[コントロールパネル]→  
[TCP/IP]をクリックします。

経由先 : 内蔵 Ethernet  
設定方法 : 手入力  
IP アドレス : 192.168.0.2  
サブネットマスク : 255.255.255.0

を入力して、閉じます。



- (2) [保存]をクリックします。



## 2. Web ブラウザからのログイン

本装置の状態表示、制御は 10BASE-T ポートに接続したパソコンから Web ブラウザを使用してアクセスし行います。Web ブラウザからの操作は以下の点に注意してください。

- Web ブラウザは、下記のバージョンに対応しています。
  - ※ Windows® Me/98/95/2000/XP の場合
    - ・ Microsoft® Internet Explorer Ver. 4.0 以上に対応
    - ・ Netscape Navigator Ver.6.1 以上に対応
  - ※ Macintosh® の場合
    - ・ Microsoft® Internet Explorer Ver. 5.0 以上に対応
    - ・ Netscape Navigator Ver.6.1 以上に対応
- 説明に使用している画面表示は、お使いの Web ブラウザやお使いの OS バージョンによって異なります。
- お使いの Web ブラウザや Web ブラウザの設定により、説明されている操作を行った際に、Web ブラウザが以前に保存していた内容を表示する場合があります。
- 回線の状況や設定によっては、設定内容が Web ブラウザに表示されるまでに時間がかかる場合があります。
- Web ブラウザにてプロキシサーバの設定がしてあると本装置にアクセスできないことがあります。その場合、プロキシサーバの設定を解除してください。

以下、本装置にログインする手順について説明します。

- (1) Web ブラウザで URL(アドレス)を <http://192.168.0.1/> と指定して、本装置にアクセスします。



- (2) ログイン名(ユーザ名)とパスワードを要求されるので、  
ログイン名(ユーザ名) : config  
パスワード : (無し)  
で[OK]ボタンをクリックします。



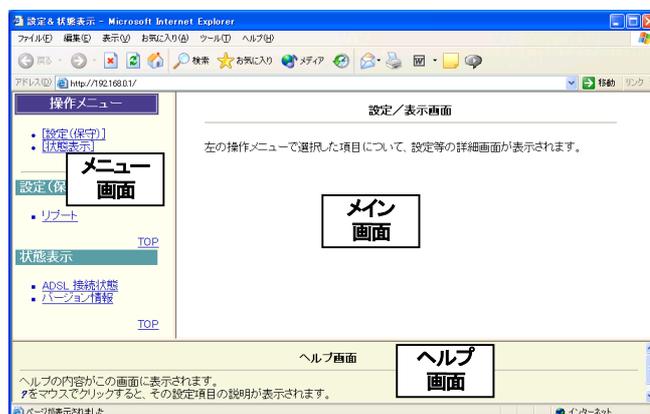
- (3) Web ブラウザを使用して、本装置へログインが成功すると、本装置の「設定/表示画面」が表示されます。画面は、「メニュー画面」、「メイン画面」、「ヘルプ画面」の3つから構成されています。

### ●メニュー画面、メイン画面

本装置の設定(保守)、表示の項目が並んでいます。項目をクリックすると、各項目の情報がメイン画面に表示されます。

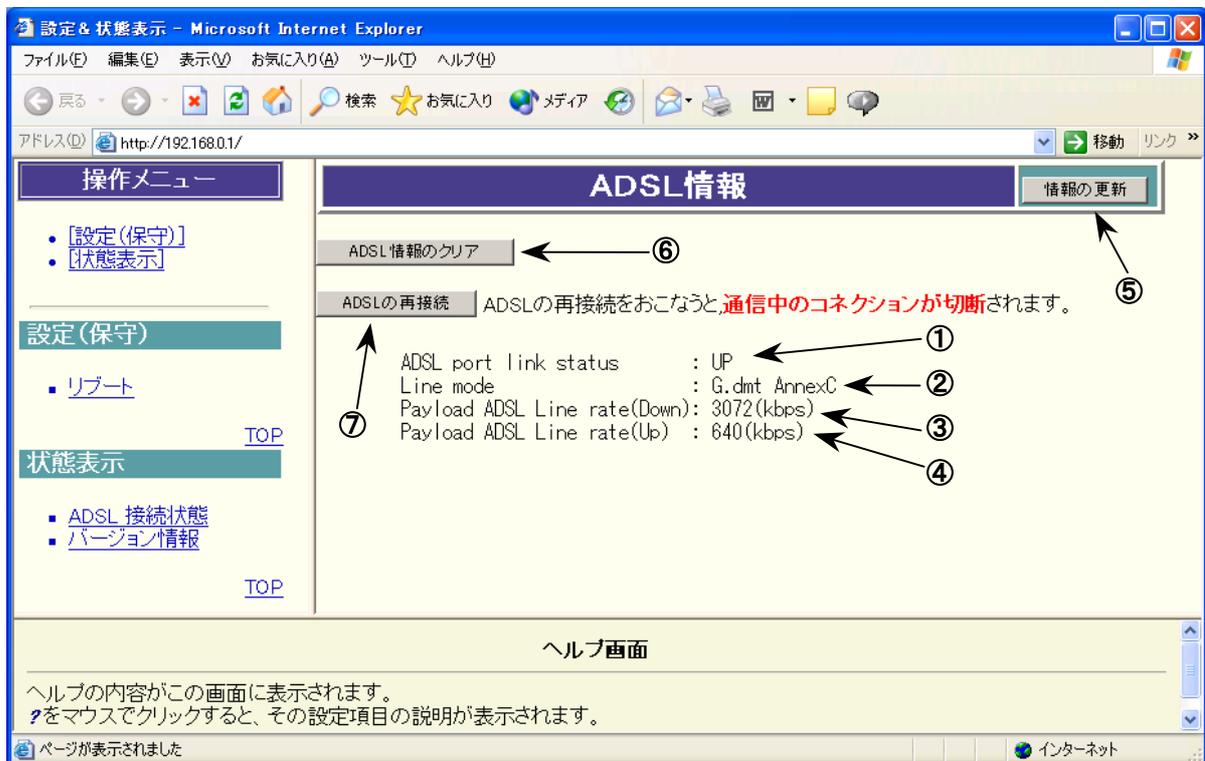
### ●ヘルプ画面

メイン画面に「？」のマークが付いているところにはヘルプが用意されています。「？」をクリックすると、ヘルプ画面に、項目の説明が表示されます。



### 3. ADSL 接続状態表示機能

操作メニューから[状態表示]の[ADSL 接続状態]を選択すると、ADSL リンクに関する情報が表示されます。



#### ① ADSL port link status

ADSL のリンク状態を表示します。

UP :ADSL ラインのリンクが確立しています。

DOWN :ADSL ラインのリンクが確立していません。( )内に詳細の状態が表示されます。

#### ② Line mode

ADSL リンクが確立されていれば、ADSL のモードが表示されます。

G.dmt Annex C :ITU-T G.992.1 Annex C モード(8Mbps サービス)で接続されています。

G.lite Annex C :ITU-T G.992.2 Annex C モード(1.5Mbps サービス)で接続されています。

ADSL リンクが確立していない場合は、「---」と表示されます。

#### ③ Payload ADSL line rate(Down)

ADSL リンクが確立されていれば、トレーニングによって決定された ADSL リンクの下り伝送速度を表示します。

ADSL リンクが確立していない場合は、「---」と表示されます。

#### ④ Payload ADSL line rate(Up)

ADSL リンクが確立されていれば、トレーニングによって決定された ADSL リンクの上り伝送速度を表示します。

ADSL リンクが確立していない場合は、「---」と表示されます。

#### ⑤ 情報の更新

ボタンをクリックすると、現時点での情報に更新されます。

#### ⑥ ADSL 接続情報のクリア

ボタンをクリックすると、ADSL 接続情報の表示をクリアし、メイン画面が切り替わります。メイン画面切り替え後、「ADSL 情報の表示」のリンクをクリックすると、ADSL 情報表示の画面に戻り、現時点での情報が表示されます。

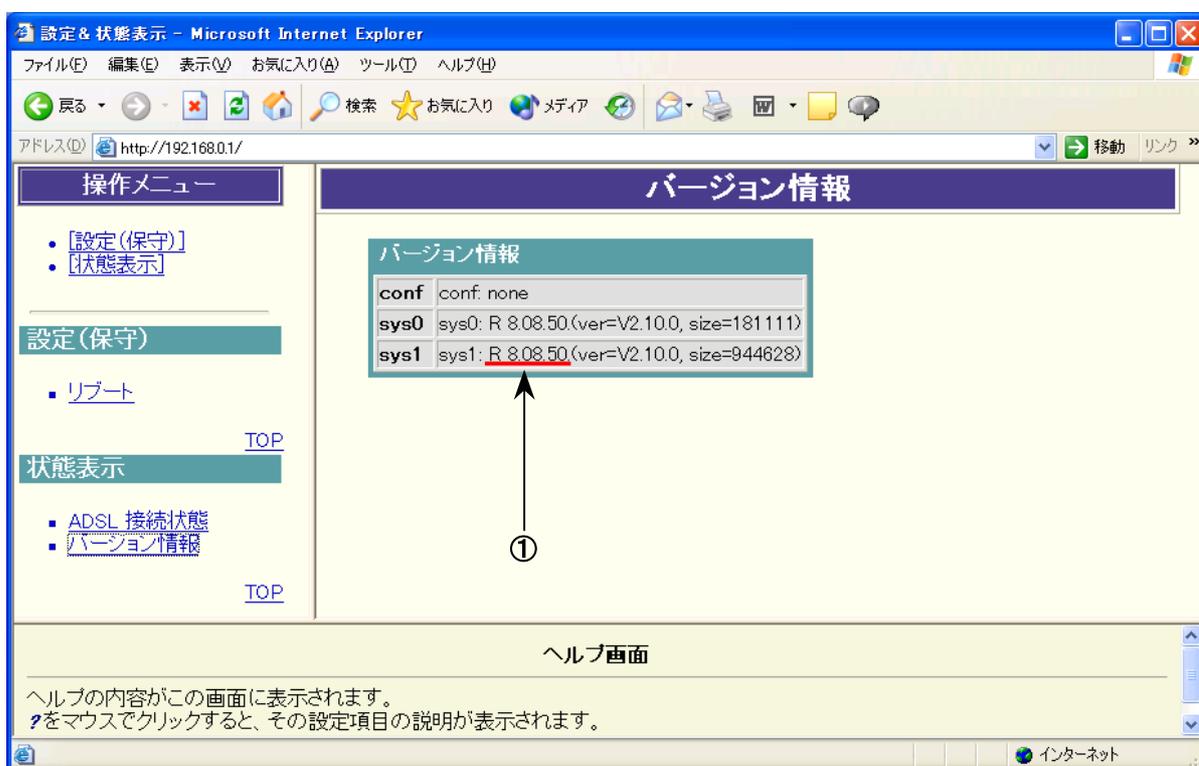
#### ⑦ ADSL の再接続

ボタンをクリックすると、ADSL のリンクを一旦切断し、再接続を行います。

※ [ADSL の再接続]を行うと、通信中のコネクションが切断されますのでご注意ください。

## 4. バージョン情報表示機能

操作メニューから[状態表示]の[バージョン情報]を選択すると、本装置のファームウェアのバージョンが確認できます。ファームウェアバージョンアップしたとき等の確認に使用します。



### ① sys1 バージョン

本装置のファームウェアバージョンが sys1 の欄に表示されます。上の例では、『8.08.50』がバージョン番号となります。

ファームウェアバージョンアップを行ったときは、下記のように表示されます。

バージョン情報	
conf	conf: none
sys0	sys0: R 7.11.17.(ver=V2.9.1, size=178842)
sys1	sys1: R 8.08.50.(ver=V2.10.0, size=944628, last stored 2001/01/01 00:34:43)

#### [注意]

sys1 バージョン情報の last stored の後に日付・時刻が表示されますが、この日付・時刻情報は現在時刻を表示しているものではありません。本装置は時計機能を有しておりますが、時刻設定は行えません。本装置起動時を2001年1月1日00:00として、動作を開始し、バージョンアップ完了された日付・時刻が、last stored の後に記録されます。

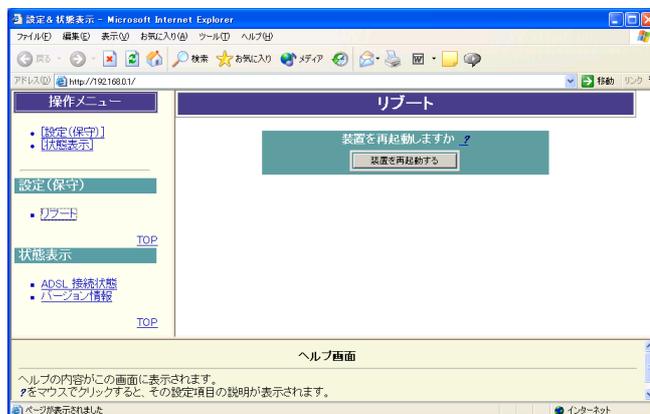
## 5. リポート機能

本装置をパソコンからリポート(再起動)することが可能です。

装置をリポートすると、通信中のコネクションが切断されますのでご注意ください。

- (1) 操作メニューから[設定(保守)]の[リポート]を選択します。

[装置を再起動する]ボタンをクリックすると、装置がリポートを開始します。



- (2) 右のような画面に変わり、装置がリポートを開始します。

リポートがかかると、装置本体の LINE ランプが一旦消灯します。LINE ランプが点滅開始すればリポート完了です。

